もっと相手に伝わるよ」と意

的に指導していく必要があ

書く授業がマンネリだ

がある。教員も「こうすると、

O山口 話し合いや伝え合

る。授業を見ると、ただ「書

なさい」と言っていること

い合わせる構成力が必要にな

める力が、次に、それを組

書くこと」には先ず材料を ○富永 私もそう思う。

なってしまう。活用していく

面をさまざま工夫していく

今や、「書く」とい

て国語はつまらないものに

照ください。

《学力調査の実施内容》

(知識)

5

(活用)

全国平均

平均正答数

平均正答数

平均正答率

(知識)

平均正答率 (全国) 未満

本市51.1% 全国46.4% 東京都44.3%

平均正答率 (全国) 未満

の児童の割合 (%) 本市44.7% 全国40.3%

〈図4

算数A

算数B

〈図5

(%)

正答数ごとの人数の割合

正答数ごとの人数の割合

(%)

正答数ごとの

、数の割合

ては、市のホームペ ジの議事録をご

会議の詳細につい

小学校3年生・5年生、中学校1年生・3年生

課庶務係☎470

ていかないと、子どもにと

につなげていくことを意識

のかを考えると、まだ不十分 んを表現するために書くこと で他教科でどれだけやってい 本校では社会でも理科でも 意識して自分の考

いる。子どもは「何を書け かに、感じたことを書かせ もまとめを書かせている。 |業の最後に、2行でも3行 るかが大切だ。 やるような言葉かけをどう のである。そこに気付かせ 分の思いに気が付けば書け んだことをまとめる目的の いの?」と聞いてくるが、 ことだと教えていけば、子ど けではなく、自分の心を表す ながるのである。 もも積極的に取り組むように なると思う。 書く」目的は伝えることだ

## 取り組むことで変わる 教員が意識的に

と思った。他教科との関連を ていて、やはり、国語力の向 上には先生の指導力が重要だ くるようだが。 てもらうことで、 含め、先生に日常的に意識し 〇司会 皆さんの話を聞い 相当違って

がある。 表現し、自身の考えがさらに 深まっていくというプロセス いで学んでいくことは、意識 国語だけではなくさまざまな いと思っている。考えを表現 的に授業に取り入れていきた し合うことで互いの考えを受 そこを目指してはいるが、 人れ、さらに自分の考えを

ることを学び、書くことで、

○山口 授業の中で表現す

えていくと分かりやすい」「こ

だ」と気付いたり、「こう考 分が「私はこう感じていた

应考が深まっていけばいいと

取り入れるようにしている。

を深めていく場面を意識的に

|葉を広げていくには国語の

〇富永 子どものうちから

し合いの仕方はもちろんある

校において、「第3回総合教育会議」が

続いて、11月7日には、市立西中学 し教育委員が意見交換をしました。

開催されました。中学3年生の道徳の

にだし、発達段階に応じた話

業だけではなく、その力を

、」といった、子ども自身の

いうふうに言うと伝えやす

教科で話し合うことで、考え

の国語の授業を参観後、「市立小学校

の児童の国語力向上」を議題に、市長

催されました。 会議の前に小学5年生

それぞれA (知識) · B

【教科】国語、

において、「第2回総合教育会議」が開

市立第六小学校

まないだろう。

と、子どもは積極的に取り組

O石居<br />
教員は工夫して他

授業を参観後、

教員が意識してそういう授業 業にしていこうとしている。 構成をしているか、ふだんか いく姿勢を見せているかどう 教科と関連させることを行っ 一つ一つの言葉に当たって 一問一答ではない授

教育委員が意見交換をしました。

当初予算(教育費)」を議題に、市長と

道徳)」と「平成29年度 「考え、議論する道徳

①全国学力•学習状況調査…【実施日】平成28年4月19日

【教科】国語、算数・数学

学力の定着状況 (小学校の算数) >

全国平均

本市

本市

5.8/13

44.5

学力の定着状況 (中学校の数学) 〉

全国

77.6

47.2

都平均

東久留米市

本市

平均正答率(全国)未満

の児童の割合(%)

本市56.7% 全国53.6%

12.1/16 12.4/16

東京都

6.5/13

49.8

②確かな学力の伸長を図るための調査…【実施日】平成28年4月12日

識してもらいたい。次の場 回の授業でぜひそのことを るべきだと思う。先生方には

用する場面が他教科でもあ

していくことについて、 たことを日常生活の中で活用 国語の授業で教え

メールや電話1本で済んでし はがきに一言書くという行為 著しく減っている。しかし、 うことが、子どもの生活から まうことでも、あえて手紙や 相手を思いやることにつ

ばならない。それをどれだけ ず、ほかにも使っていける力 学校全体が意識して行うか の育成を意識していかなけれ 今後は国語だけに収まら

テップアップ学習事業がスタ 28年度から、市の国語力ス

を取り入れたり、学校に学力 施策を進めていきます。 よく身に付くよう、総合的に と」「話すこと」「読むこと」 導訪問をするなどしたり、本 「書くこと」の力がバランス の子どもたちに、「聞くこ 上指導員を派遣したり、指 東京ベーシック・ドリル

取り入れていかないと国 かが重要だと思っている。 教員がどれだけ意識している だけ「話し合い」「書くこと」を 言語力は伸びていかない 他教科の授業にできる 例

平成28年度

結果まとまる

市全体及び学校ごとにまと 図るための調査」の結果を、 力調査「確かな学力の伸長を 学習状況調査」と市独自の学 4月に実施した「全国学力 昨年の12月に公表しまし 教育委員会は、平成28年

ント多い。

【算数の課題(全国平均より

の国語については、市のホ 中学校の数学の「学力の定着 が、ここでは小学校の算数と ムページをご参照願います いてお知らせします(中学校 状況」と「学力の伸び」に 語の調査結果を紹介しました 今号では1面に小学校の国

> なもの)】「除数と被除数に同 下回っている課題のうち顕

じ数をかけても商は変わらな

学力の定着状況は…

《小学校算数の全国学力・学

習状況調査による学力の定着 状況の概要》 算数Aは正答数の多い層が

算数において、平成26年度

年生でも0・6ポイント下回 っていた。平成28年度中学1 小学5年生では、全国平均値 -00を1・7ポイント下回

長を図るための調査」 小学校の「確かな学力の伸 結果の

【対象】小学6年

2ポイント下回っていた。 平 成28年度中学3年生では2・ 平成26年度中学1年生で 全国平均値100を1・

学力の伸びは…

長を図るための調査」結果の 取り」などに課題が見られる なもの)』「約数と公約数」「メ ートル法・体積」「資料の読み ト回っている課題のうち顕著

をご覧いただくか、指導室で わせください

ることができる」「示された説 する」「小数の除法の計算をす 用いられている 下回っている課題のうち顕著

〈中学校の「確かな学力の伸 【算数の課題(全国平均より

件」等に課題が見られる。 3ポイント下回り、2か年で は市及び各校のホー 次関数」「直角三角形の合同 なもの)】「多項式の次数」「一 下回っている課題のうち顕著 【数学の課題(全国平均より 調査の結果等詳細について ムページ

調査で全国平均及び都平均を 全国に比べ算数Aが4・4 ており、正答数が少ない層が (全国) 未満の児童の割合は 回っている▼平均正答窓 い▼平均正答率は、全ての 算数Bは幅広く分布 算数Bは3・1ポ 幅広く分布しており、正答数 分布となっている。数学Bは

れる▼平均正答率は全ての調 イント、数学BはO・1ポイ 全国に比べ数学Aは4・7ポ **査で、全国平均及び都平均を** (全国) 未満の生徒の割合は -回っている▼平均正答率

【数学の課題(全国平均より

たりの大きさの求め方を理解 いことを理解する」「単位量当

が少ない層が厚い。数学A・ Bとも分布にばらつきが見ら ける数量の関係を捉え、 割合を求める」等に課題が見 る」「一次関数の式から変化の おける2つの数量の関係が、 式をつくる」「具体的な事象に なもの)】「具体的な場面にお 表から最頻値を読み取る」「反 反比例の関係になることを理 例のグラフから式を求め している」「資料を整理した

る れた事柄について、二つの表 の概要》(図5) その説明を記述できる」「示さ を基に読み取ることができな 況調査による学力の定着状況 事柄を特定することができ 《中学校の全国学力・学習状 などに課題が見られる。

〜 算 数・

数学

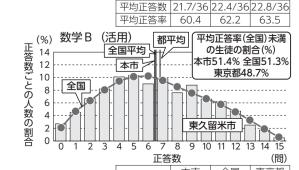
数学Aは緩やかな右寄りの

いじめや勉強などの学校生活の 悩みは「教育相談室」に ご相談を ◎中央相談室(教育センター内)

**☎**473 ⋅ 3667 ○滝山相談室(西中学校隣) **☎**475 ⋅ 8909

## 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 全国 東京都

**P** 



正答数

本市 全国 東京都 平均正答数 6.5/15 6.6/15 6.8/15 平均正答率 43.5 44.1 45.6



冬真っただ中の2月18日、今回で13回目の「市民つなひき大会」 を開催します。"運動会の綱引き"とは異なり日本綱引連盟公認口 ープとレーンマットを使用して、1 チーム8人で引き合います。 公認審判資格を取得した審判員が、本格的な試合裁きを行いま す。チームの体重制限はありません!奮ってご参加ください。

【日時】 2月18日 (土) 午前9時開会 【会場】スポーツセンタ -第1体育室 【対象】市内在住・在勤・在学・在クラブの方 【部門】①未就学児(3歳以上)の部、②小学 1・2年生の部、③小学3・4年生の部、④小学5・6年生の部、⑤中学生の部、⑥一般男子の部、⑦一般女 子の部、⑧一般男女混合の部(中学生以上)、⑨一般男女混合の部(60歳以上)。※部門⑧・⑨は試合中男性4 人まで。部門⑤から⑧までは重複エントリー可 【チーム編成】1チーム8人(登録は13人まで) 【参加費】 一般200円、中学生以下100円(1人当たり。保険代等) 【申し込み】2月6日(月)までに参加申込書に必要 事項を記入の上、ファックス(470・2688)または封書で、〒203−0011、大門町 2 −14−37、スポーツセンタ ーあて郵送を。 ※参加申込書は市ホームページから取得できます。 詳しくは生涯学習課スポーツ振興係**☎**470・7784へ。